

令和4年度

# 世論調査

# 結果報告

市は、市民の皆さんの意見や要望を市政に反映させるため、毎年世論調査を実施しています。6月に行った世論調査の結果がまとまりましたので、一部を抜粋してお知らせします。今回の調査にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。貴重なご意見を参考に、今後の市政運営を行ってまいります。

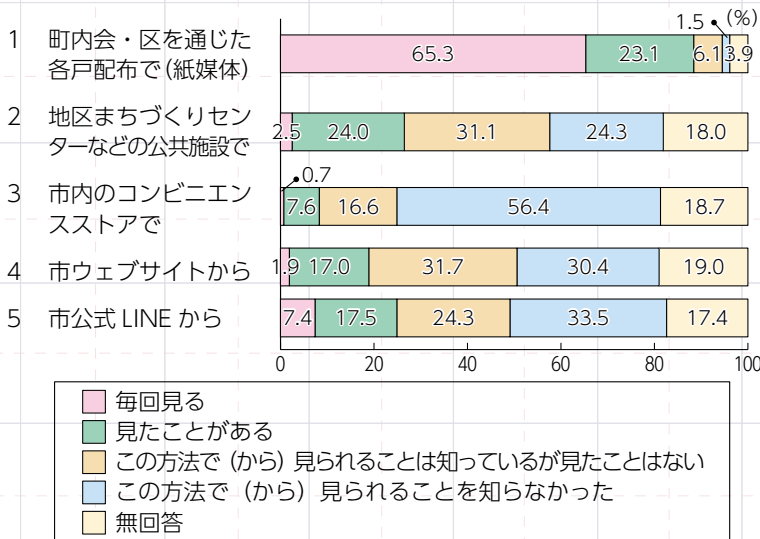
テーマ／「富士市の広報全般」、「食育」  
 対象／市内在住の満18歳以上80歳未満の男女3,000人  
 抽出方法／住民基本台帳から無作為抽出  
 調査期間／6月13日～7月4日 調査方法／郵送調査  
 有効回収数(率)／1,491人(49.7%)  
 ※調査結果の比率は、百分率で表示し、小数点以下第2位を四捨五入していますので、合計が100%にならない場合があります。



※詳しい調査結果は、各図書館や市ウェブサイトでご覧になれます。

## テーマ

## 富士市の広報全般



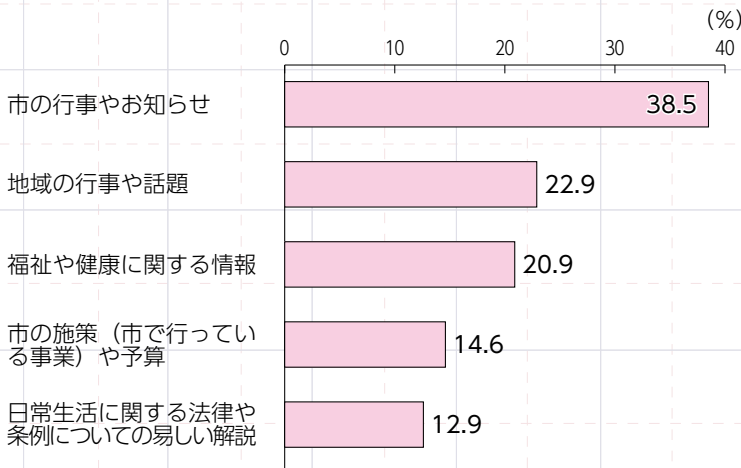
※主な項目のみ掲載

「毎回見る」と答えた人で最も多い方法は、「町内会・区を通じた各戸配布(紙媒体)」で65・3%でした。一方、半数以上の人が市内のコンビニエンスストアで得られることを知らなかったと回答しました。

▽ 広報ふじを「毎回見る」と答えた人で最も多いのは、「町内会・区を通じた各戸配布(紙媒体)」

Q 「広報ふじ」はどのような方法で目に(手に)していますか。

「広報ふじ」の取得方法



※上位5項目のみ掲載

今後「広報ふじ」で特に知りたい、または取り上げてほしいと思うことは、「市の行事やお知らせ」が38・5%と最も多く、次いで「地域の行事や話題」が22・9%、「福祉や健康に関する情報」が20・9%となっています。

▽ 最も多いのは「市の行事やお知らせ」

Q 今後「広報ふじ」で特に知りたいと思うことや、取り上げてほしいと思うことは何ですか。(複数回答)

「広報ふじ」で知りたい、または取り上げてほしいと思うこと

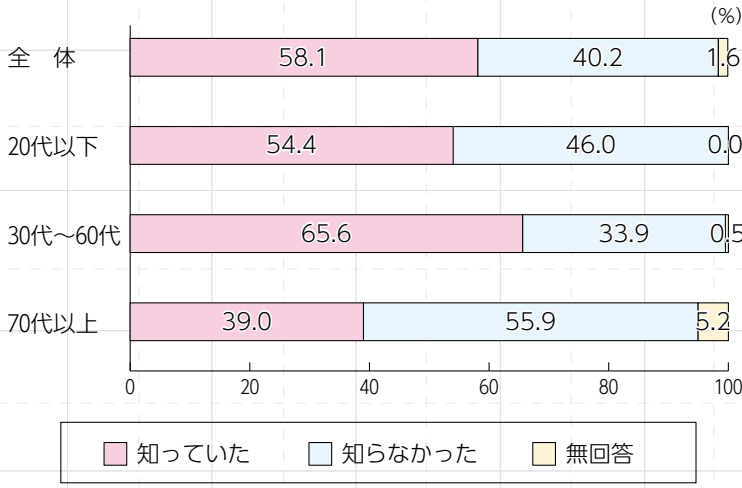
## 富士市公式LINEの認知度

Q あなたは富士市公式LINEを知っていましたか。

### ▽5割以上が「知っていた」

富士市公式LINEの認知状況は、「知っていた」が58.1%、「知らなかった」が40.2%となっています。

また、年代別では、30～60代において「知っていた」が6割以上と多くなっています。70代以上においては「知っていた」が39.0%とほかの年代に比べて少なくなっています。



## 安全な食生活を送るための意識状況

Q あなたは、安全な食生活を送るためのポイントとして、次の項目をどの程度意識し、判断していますか。

### ▽「生の状態や加熱が不十分な状態で肉を食べないこと」が最も高い

衛生管理について、「生の状態や加熱が不十分な状態で肉を食べないこと」は最も高く、約9割の人が当てはまると回答しましたが、「生肉や生魚を扱った包丁、まな板などの調理器具は、専用のものを使うか、熱湯をかける」については、約7割にとどまっています。

食品表示については、「食品に表示されている保存方法や使用方法を守ること」と「食

品を買うときや食べるときに消費期限、アレルギー表示など、容器包装に記載されている表示を確認すること」は、8割を超える人が当てはまると回答しています。一方、「健康食品を選ぶ場合は、成分名、含有量、使用上の注意、問合せ先、品質保証に関するマークなど表示されている内容をよく読んで、自分に必要かどうか検討してから購入すること」は、7割程度にとどまっています。

## 食育



◀富士市食育キャラクター「むすびん」

## テーマ

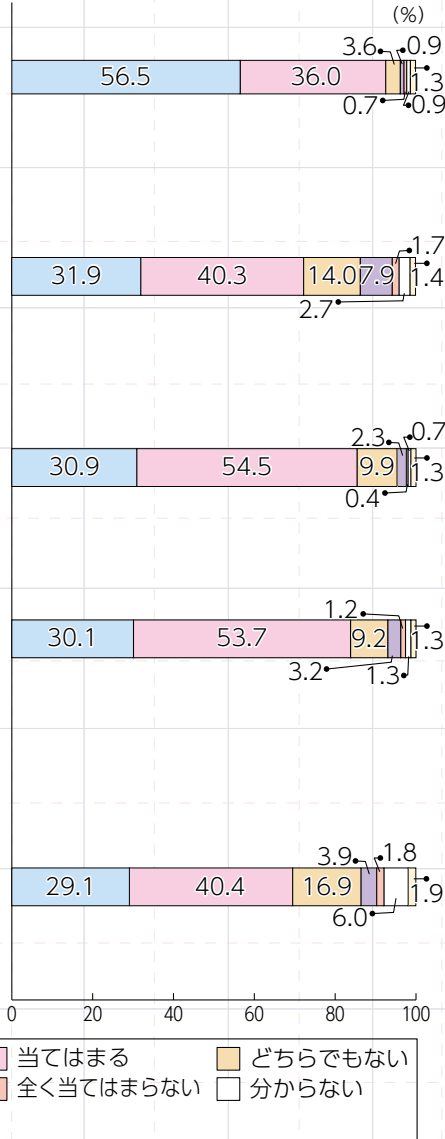
生の状態（生食用として販売されているものは除く）や加熱が不十分な状態で肉を食べないこと

生肉や生魚を扱った包丁、まな板、トング、箸などの器具は、専用のものを使うか、他の調理に使用する場合には熱湯をかける（またはよく洗う）こと

食品に表示されている「保存方法」や「使用方法」を守ること

食品を買うときや食べるときに「消費期限」、「アレルギー表示」など容器包装に記載されている表示を確認すること

健康食品を選ぶ場合は、成分名、含有量、使用上の注意、問い合わせ先、品質保証に関するマークなど表示されている内容をよく読んで、自分に必要かどうか検討してから購入すること



※主な項目のみ掲載